

地域ネットワーク ニュース 第27号

▼はじめに

この紙面は、八戸市連合町内会連絡協議会の取り組みや八戸市内の連合町内会・町内会・自治会の活動などを紹介し、相互の情報共有や各町内会等での活動に役立てていただくこと、さらには、市民の皆さまにもお読みいただき、町内会の活動への関心を高めていただくことを目的に発行するものです。

目次

『地域の底力』特集！

- 1 「地域の底力」実践プロジェクトとは？
..... 1 ページ
- 2 是川地区の取組
..... 2 ページ
- 3 湊高台地区の取組
..... 3 ページ
- 4 大館地区の取組
..... 4 ページ

『地域の底力』実践プロジェクトとは…？

地域の特色や資源（※）を活用し、地域が課題解決や活性化に向けて主体的に取り組む活動を市が共に考え、実践に必要な資金の支援をすることで、地域力の向上および地域の活性化を図る事業です。（※）人材、歴史、文化、伝統、自然、教育機関との連携 等

▼取組案の応募

随時相談受付！

- ①課題解決や活性化をテーマに、連合町内会等が中心となって話し合いを行います。
- ②取組案ができれば、市役所あてに応募します。

▼結集会議の開催

市長も参加！

地域の皆様、関係団体などが一同に会し、プロジェクトの目的や方向性などを共有し、取組を実践するための合意形成を図ります。



▼プロジェクト会議で取組内容を検討

- ①連合町内会等を中心に、プロジェクトチームを結成します。
- ②プロジェクトチームが会議開催を主導し、具体的な取組内容を話し合うほか、スケジュールや役割分担などを順次決めます。

▼プロジェクトの実践

結集会議やプロジェクト会議で検討し、決定した取組を実践します。



▼ふりかえり

継続実施に向けて振り返りを行うとともに、事例紹介に向けた準備を行います。

＼今回は、令和3年度にプロジェクトを実践した3地域の取組を紹介します！／

編集発行：八戸市連合町内会連絡協議会(事務局：八戸市総合政策部市民連携推進課)

電話番号：0178-43-9182 FAX番号：0178-47-1485

電子メール：renkei@city.hachinohe.aomori.jp

八戸市 市連合



是川縄文の里プロジェクト2021 ～是川遺跡を活用した地域活性化～

世界遺産登録を契機に『是川縄文トレイル』を開催しました。県外からの参加者もみられ季節ごとの開催を希望する声が多く聞かれたほか、新たな人材発掘にもつながりました。

また、是川縄文をモチーフとしたデザインの健診フラッグの作成、是川中央公園壁面のペイントも行い、地域住民が元気で豊かに暮らすことができるまちづくりを実践しました。



結集会議



健診促進フラッグ

↑ 是川縄文をモチーフとした健診促進フラッグを作成し、健診参加を呼びかけました。



是川中央公園
アートペイント

← 八戸学院大学の佐貫巧氏協力のもと、是川縄文をモチーフとしたデザインのペイントを実施しました。

↓ 片面は令和元年にペイント



「いこいの場」でのプロジェクト会議
ロマンの道ルートを思考中!

是川の豊かな景観と文化を堪能できる「是川縄文ロマンの道」ルートを開発。オリジナルのマップを作成し11/3(是川縄文の日)に住民ガイドによる「是川縄文トレイル」を実施しました。また参加したい!という声が多く聞かれ、是川の歴史や魅力を発信することができました。現在、別ルートでの開催を検討中です!



是川縄文トレイル

夏祭りの再編とにぎわいファームの開設

空地を利用して「にぎわいファーム」を開設しました。子ども会を中心に1年を通して活動し、収穫した野菜は住民及び福祉施設等へ寄付したほか、夏休みのラジオ体操や秋の漬物作りでお振舞いし、地域へ還元しました。また、夏祭りの代替イベントとして、老若男女が安全に楽しめるアトラクションの体験会を実施し、地域の世代間交流・愛着の醸成を図りました。



「地域の底力」結集会議

結集会議

地域の新たな遊具
お披露目&体験!



4月開墾

↑夏祭りを盛り上げるため、揃いの半纏を購入。コロナ感染拡大の影響で、大規模なお祭りの開催は断念しましたが、代替イベントを実施しました。今年こそは…!!



じゃがいも作付

ラジオ体操で
じゃがいもお振舞い

にぎわいファームでは、地域の子もたちが数多く参加し、じゃがいも・大根・枝豆・かぼちゃ・さつまいも・長ネギを収穫しました。大豊作!



大根収穫



↑草刈り機が大活躍
補助金を活用して購入しました



↑収穫した大根で
漬物作りも行いました!

次の目標は、地域のどんと祭りで、収穫したさつまいもを使って焼き芋をすることです!



じゃがいも収穫



どんと祭り

大館地区 (大館地区連合町内会)

「ふるさと大館」歴史と文化の保存と伝承 ～おらんどの大館、どやすっきゃ!!～

地域の文化財の保存継承のため、「歴史看板」を設置するとともに、新井田小学校および八戸工業大学と連携し「歴史看板マップ」を作成しました。地域においては、これまでの地域活動を見直す好機となり、新たなネットワークの構築や人材発掘につながったほか、自ら進んで地域づくりに参加する住民も増えました。



結集会議



新井田小×八戸工業大学
歴史看板イラストマップ作成



キックオフミーティング
@八戸工業大学



プロジェクト会議

↑高橋教授と大学生のサポートのもと、児童が自らアプリを使ってマップを作成しました!

←3つの部会に分かれて、効率的に取組の検討を進めました。

「新井田が好きになった」「地域の皆さんの丁寧な説明のおかげで歴史を理解することができた」という子どもたちの嬉しい感想が!→



歴史看板



歴史看板マップ
子ども用

この他、住民と大館中学校生徒との意見交換会も「おらんどの大館」について考える機会を創出しました。今後は、歴史看板の増設や、マップを活用した地域学習の取組等を継続して検討していく予定です!

ここ数年、コロナ禍の影響で中止となっている新田城まつり。来年こそ開催し、若い世代とともに地域を楽しく盛り上げることが次なる目標です!



館長と大館さんぽ



新井田小学校
フィールドワーク



歴史看板マップ
大人用